

当社の「発泡スチロール成形技術」が
2017年度 東京ビジネスデザインアワードにて、
デザイナー榎本大輔氏、横山織恵氏の提案
「新しい機能を持たせた「光る発泡スチロール」」で「優秀賞」を受賞

株式会社石山(東京都墨田区、代表取締役 石山幸夫)は2017年度 東京ビジネスデザインアワード(主催:東京都、企画運営:公益財団法人日本デザイン振興会)において「テーマ」として選出されておりました当社技術「発泡スチロール成形技術」が、デザイナー榎本大輔氏、横山織恵氏(株式会社 hitoe)の提案「新しい機能性を持たせた光る発泡スチロール」で優秀賞を受賞致しました。

当社の「発泡スチロール」という素材の新しいビジネスの方向性を探るべく、本年度の東京ビジネスデザインアワードに応募し、当社の「発泡スチロール成形技術」が、「テーマ」のひとつとして選出されました。選定された8つのテーマの中から、アワード審査会による提案1次審査、審査会とテーマ企業による提案2次審査を経て選ばれた8つのテーマデザインについて、2018年2月7日に東京ミッドタウンにて提案最終審査(公開プレゼンテーション審査)が開催されました。

このたび当社の「発泡スチロール成形技術」は、提案最終審査の結果、デザイナー榎本氏、横山氏による「新しい機能を持たせた「光る発泡スチロール」」の提案で、優秀賞を受賞いたしました。

今後は、デザイナー榎本氏、横山氏との協同にて新製品の開発を含め、提案の実現化を進めてまいります。

東京ビジネスデザインアワードは、東京都内のものづくり中小企業と優れた課題解決力・提案力を併せ持つデザイナーとが協働することを目的とした、企業参加型のデザイン・事業提案コンペティションで、今年で6回目を迎えます。中小企業の持つ技術や素材は、コンペティションの「テーマ」として選出され、それらの新規用途開発を軸としたビジネス全体の「提案」をデザイナーから幅広く募り、優れた事業提案の実現化を目指します。

- 技術・素材名称:発泡スチロール成形技術
- テーマ名:98%の空気で作る機能性エコ素材
「発泡スチロール成形技術」
- 提案者:榎本大輔氏、横山織恵氏(株式会社 hitoe)
- 提案名:新しい機能を持たせた「光る発泡スチロール」
- 東京ビジネスデザインアワード公式サイトでの
結果発表ページ
<https://www.tokyo-design.ne.jp/news/2017/18-0208/>
- 東京ビジネスデザインアワードの公式ウェブサイト
<http://www.tokyo-design.ne.jp/award.html>



このプレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社石山 広報担当: 菊地 TEL: 03-3632-8500 E-mail: info@ishiyamapack.co.jp

■「発泡スチロール成形技術」について

発泡スチロールは 98%が空気できている。そのため非常に軽く、化学製品でありながら、プラスチック原料がわずか 2%しか使用されておらず、燃やしてもダイオキシンの発生しないエコ素材である。無数の気泡の集合体のため、断熱性、緩衝性に優れている。また、燃えやすく、射出成形のプラスチック製品と比較すると、長期の使用や、瞬間的な圧力には弱く壊れやすいといった特性もあるが、発泡ビーズの倍率を変える事により、低密度の柔らかい製品から、高密度の硬質な製品まで製造することができる。当社では上記の発泡スチロールを金型成形で製造することができる。市場で見かける物流容器から、ホームセンター等で販売されている雑貨のような形状、ブロックや板などの成形が可能である。成形面積が 2 m以上の大型成型機や日本初の連続押出發泡成形機での成形も可能である。また、成形した製品を熱線でカット、シュリンク加工などの二次加工を一貫して行う事ができる。

■会社概要

社名	株式会社石山
代表者	代表取締役社長 石山幸夫
所在地	〒130-0024
設立年月日	昭和 43 年 1 月
資本金等	2 億円
事業内容	発泡スチロール製品の製造、販売